

# 第128回 医療連携講演会

日時：平成29年9月28日(木)

19:30 ~ 21:00 (質疑応答含む)

場所：大久保病院 7階 会議室

## 脳梗塞治療の最前線

～ここまで来た！脳血管内治療～

### 大久保病院

### 脳神経外科 阿南 英典 医師

人口の高齢化に伴い、脳梗塞が増加しており、今後も増加の一途をたどると考えられています。急性期脳梗塞発症から4.5時間以内の急性期脳梗塞に対するrtPA静注療法は、現在標準的な治療として広く行われています。しかし、本治療は適応時間が短く、その適応患者は限定されています。また、rtPA療法単独では主幹部閉塞での再開通率が低い（およそ30-40%）のが現状です。そこで、rtPA静注療法によって再開通が得られない症例や適応外症例に対して、血栓回収デバイスによる血栓回収療法が注目されるようになってきました。

2011年10月にPenumbra systemが、そして2014年7月からはステント型血栓回収デバイスであるSolitaire FR、Trevor Provue、REVIVEが相次いで認可されました。2014年から2015年にかけて、ステント型血栓回収デバイスを用いた国際共同試験の結果が発表され、血栓回収療法の有効性が示されました。同治療法の概要について紹介いたします。

《 参加申し込み お問い合わせ 》

(公財)東京都保健医療公社大久保病院 地域連携係

電話：03(5273)7711 内線：2131

日本医師会生涯教育制度参加証（1.5単位）を申請中です。

（カリキュラムコード） 34・36・63

<共催>新宿区医師会